

Pepper for Biz 3.0 連携マイアプリ開発ルール (Androidアプリ)

更新履歴

版	更新日	更新内容
1.00	2019/11/01	作成
1.01	2019/02/01	「共通」の共通設定画面を呼び出すインテント名を修正
1.02	2019/02/15	「お仕事内から起動するアプリ」のsetResult()について、注意事項を追加
1.03	2019/02/28	「お仕事内から起動するアプリ」にonRobotFocusLost()についての内容を追加
1.04	2019/03/15	「共通」にSpeechBarに関する項目を追加、全体的な文体の修正
1.05	2019/04/15	「共通」にログの出力に関する項目を追加
1.06	2019/04/23	「共通」にログの出力に関する項目を追加

1. 共通

1. TabletのHWキー、Navigationバーのソフトキーによらない画面遷移、アプリ終了を実装してください。

Pepper for BizではTabletのHWキーを無効化し、Navigationバーを非表示(スワイプしても表示されない)にしておりますので、バックキーでの戻る操作やアプリ終了が出来ません。そのため、戻る操作やアプリ終了操作は、アプリのUIでできるように実装する必要があります。

2. お仕事かんたん生成3.0の設定画面を表示したい場合は、以下のBroadcast Intentを使用してください。

アクション名: jp.softbank.rb.p4b3.p4b3settingsclient.action.SETTING_MENU

3. お仕事かんたん生成3.0のPIN認証画面を利用したい場合は、以下のIntentを使用してください

【Intent情報】

Package Name: jp.softbank.rb.p4b3.p4b3settings

Class Name: jp.softbank.rb.p4b3.p4b3settings.ui.password.InputPasswordActivity

返却値:

認証成功: RESULT_OK(-1)

認証失敗: RESULT_CANCELED(0)

※認証に成功した場合は”RESULT_OK”を、PIN No.の入力をキャンセルした場合は”RESULT_CANCELED”を返却します。

呼び出し例:

```
Intent intent = new Intent();
intent.setClassName("jp.softbank.rb.p4b3.p4b3settings",
    "jp.softbank.rb.p4b3.p4b3settings.ui.password.InputPasswordActivity");
startActivityForResult(intent, requestCode);
```

4. 音声の聞き取りを行うアプリでは、必ずSpeechBarを表示してください

エンドユーザーのUXを統一するために、音声の聞き取りを行う場合は必ずスピーチバーを表示してください。

SpeechBarは、RobotActivityを継承する事で表示されます。

詳細は下記をご参照ください。

https://android.aldebaran.com/sdk/doc/pepper-sdk/ch4_api/conversation/conversation_feedbacks.html

5. 一時間問い合わせ窓口での対応をスムーズに行うため、Androidの標準Logクラスを使用して、必ず以下のログを出力してください

- 1) アプリが正常に起動している事を確認するため、5分ごとに正常確認ログ
- 2) キャッチした例外とキャッチできなかった例外全てのログ

- 3) アプリがタイムアウトや何らかのエラーで意図的に終了する場合は、そのログ
- 4) エラーハンドリングによるリトライ処理を行っている場合はそのログ
- 5) 入力された値によって処理が変わるメソッドがある場合は、メソッドが呼び出されたときに入力された値のログ
- 6) タブレットのタッチで動作するアプリの場合、タッチされた際の座標、単押し、長押しなどのタッチイベントについてのログ
- 7) 外部機器が必要なアプリの場合、機器があるかチェックするタイミングで、その結果のログ
- 8) ディスプレイのページが遷移する場合、遷移のタイミングと遷移先がわかるログ
- 9) 何らかのデータ転送やAPI呼び出しがある場合、他のサービスと通信する際に発生した接続・データ転送・API呼び出しのログとそれらのエラーログ
- 10) アプリがNW通信を行う場合、リクエスト・応答結果・接続先が判断できるログ
例) リクエストUrl、および応答時のHTTPコードなど
- 11) アプリが別アプリを呼び出す場合、その呼び出しとコールバックのログ
- 12) アプリ終了時に終了処理が行われたこと、およびその結果のログ
- 13) Pepperに物理的な動きがあるアプリで、障害物の有無によって挙動が変わる場合、障害物により動きが制御されたタイミングとその内容のログ

2. お仕事内から起動するアプリ

1. 連携アプリはstartActivityForResult()を使用して起動されますので、終了時にResult Codeとして”RESULT_OK”または”RESULT_CANCELED”をセットしてください。

【お仕事かんたん生成3.0に復帰した際の後続処理】

RESULT_OK：お仕事を継続し、後続のボックスを実行します

RESULT_CANCELED：お仕事を終了し、お仕事の先頭のボックスに戻ります

2.Result Codeをセットする際は、setResult(int resultCode, Intent data)を使用してください。

”RESULT_OK”または”RESULT_CANCELED”のみを返す場合も、setResult(int resultCode, Intent data)を使用しIntentをセットしてください。

3. 連携アプリでパラメータを受け取りたい場合はIntentのextraを使用してください。

【extra情報】

key値：launch_param

データ型: String

CMSで設定した連携パラメータを上記のextraで受け取ることができます。

複数の値を受け渡したい場合は、任意の文字を区切り文字として使用してください。

例: "AAAA|BBBB|1111"という値を受け渡し、アプリ側で"AAAA"、"BBBB"、"1111"を取り出す

3. 連携アプリ終了後のお仕事の分岐先についてもIntentのextraを使用してください。

【extra情報】

key値: route

データ型: Int

CMSで設定した分岐先の戻り値を上記のextraで受け渡してください。

このとき「0」を渡すとアプリボックスの設定に関わらず、該当無しに遷移するため、0を使用する場合は注意してください

4. onRobotFocusLost() に "RESULT_CANCELED" でアプリを終了する処理を実装してください。

RobotFocusを失った時は、アプリを終了してP4B3アプリに戻るようにしてください。その際、復帰時にお仕事の先頭から再開できるように"RESULT_CANCELED"を返却してください。

3. その他アプリとして起動するアプリ

1. P4B3用独自Category([android.intent.category.P4B3](#))をManifestに定義してください。

本実装を行なうことで、その他アプリの一覧(Android Chooser)に表示されます。選択されたアプリは、以降自動で起動されます。

2. アプリ名(日本語)を定義してください。

アプリ呼び出し前の画面 (Start画面) で日本語のアプリ名を表示するため、定義してください。

4. P4Bアプリのメニュー(基本アプリ設定)から起動するアプリ

1. P4B3用独自Category([android.intent.category.P4Bstandard_apps.settings](#))をManifestに定義してください。

本実装を行なうことで、基本アプリ設定のボタン選択時に一覧 (Android Chooser) に表示されるようになります。

2. アプリ名(日本語)を定義してください。

アプリ呼び出し前の画面(Start画面)にて日本語のアプリ名を表示するため、定義してください。

3. アプリを終了する機能を実装してください。

アプリ呼び出し元の画面 (メニュー画面) に戻る為、画面上に終了ボタンを設けるなど、アプリを終了する為の機能を実装してください。